

2011 年度 小委員会活動成果報告

(2012 年 2 月 14 日作成)

小委員会名	R C 部材性能評価小委員会		主 査 名：田才 晃 就任年月：2010 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 鉄筋コンクリート構造運営委員会		委員長名：中島正愛 主 査 名：壁谷沢寿海
設 置 期 間	2010 年 4 月～2014 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2010 年度：関連文献の収集と分析。部材性能評価（案）作成。 ・ 2011 年度：R C 計算規準 II・同解説（案）（仮称）の部材性能評価部分編集。 ・ 2012 年度：応答スペクトルによる耐震性能評価指針の評価規準の原案作成。 ・ 2013 年度～2014 年度：応答スペクトルによる耐震性能評価指針の解説案作成。 		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	主査：田才 晃（横浜国立大学） 幹事：河野進（京都大学）、加藤大介（新潟大学） 委員：市之瀬 敏勝（名古屋工業大学）、和泉信之（千葉大学）、壁谷澤寿海（東京大学）		
設置 WG (WG 名：目的)	梁柱部材WG：梁および柱部材の性能評価法を具体的に提案する。 壁部材WG：壁部材の性能評価法を具体的に提案する。 柱梁接合部WG：柱梁接合部の性能評価法を具体的に提案する。		
2011 年度予算	700,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：無	

項 目	自己評価
委員会開催数	2 回（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	PD「鉄筋コンクリート造建物の保有水平耐力計算と地震被害」 (資料名) 同上 参加者 309 名
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. WGの活動を通じ、保有水平耐力計算に資する設計法を提案した。 2. 部材性能評価法の原案作成、各部材評価法、モデル化の整合性の検討を継続中。
委員会活動の問題点・課題	特になし